資料　4　（高等学校国語教科書「国語総合」）

現代文編

1 随想
届く言葉……内田　樹　10
記憶にない街路樹……三崎亜記　16

2 小説1
羅生門……芥川龍之介　22
ドライ・クリーニング……吉田修一　36
小説の読み方……45

3 評論1 認識 文化
今ここにある無数の未知……石川直樹　50
水の東西……山崎正和　55
評論の読み方……61

4 小説2
城の崎にて……志賀直哉　66
沖縄の手記から……田宮虎彦　77
文学への扉❶「自分」という語……98

5 評論2 科学 時間
欲望と科学……池内　了　100
時間と自由の関係について……内山　節　106
思考への扉❶「自由」を論じる……116

6 詩歌
冬が来た……高村光太郎　118
汚れつちまつた悲しみに……中原中也　120
I was born……吉野　弘　122
夏の姿……木坂　涼　126
十五の心――短歌抄……正岡子規ほか　128
白牡丹――俳句抄……高浜虚子ほか　132
《参考》折々のうた　大岡　信……136

7 評論3 社会 哲学 言語
まちの豊かさとは何か……山崎　亮　138
真の自立とは……鷲田清一　146
ものと記号……池上嘉彦　153
思考への扉❷ コミュニティのこれから……162

8 小説3
富嶽百景……太宰　治　164
鏡……村上春樹　179
文学への扉❷ 文体の特色……190

9 評論4 環境 情報
生物の多様性とは何か……福岡伸一　192
白……原　研哉　199
思考への扉❸ 共有地の悲劇……206

言語活動編
❶ スピーチする……208
❷ 調査して発表する……210
❸ 討論する……214
❹ 随筆を書く……218
❺ 意見文を書く……220
❻ 通知文を書く……224
❼ 情報を読み取る……226
❽ 実用文について考える……232

古文編

1 古文入門

児のそら寝　『宇治拾遺物語』……236
古文学習のしるべ❶　古文の言葉と仮名遣い……238
検非違使忠明　『今昔物語集』……240
古文学習のしるべ❷　現代語訳のために……242
絵仏師良秀　『宇治拾遺物語』……244
古文学習のしるべ❸　係り結び／仮定条件と確定条件……246

2 随筆

徒然草　兼好法師
城陸奥守泰盛は……248
丹波に出雲といふ所あり……250
神無月のころ……252
九月二十日のころ……254
今日はそのことをなさんと思へど……256
《参考》つれづれなるままに……257
古文の窓❶　兼好法師、こんな一面も……258

3 歌物語

伊勢物語
芥川……260
東下り……262
筒井筒……266
言語活動❶　古典を自分の言葉で書き換える……269
古文の窓❷　恋愛と結婚……270

4 日記と随筆

土佐日記　紀貫之
馬のはなむけ……272
羽根といふ所……274
帰京……276
古文の窓❸　吉日・吉方と旅立ち……278
和歌の解釈……279
枕草子　清少納言
五月ばかりなどに山里に歩く……280
にくきもの……282
《参考》春は、あけぼの……284

5 作り物語と軍記物語

竹取物語
《参考》なよたけのかぐや姫……286
天の羽衣……287
古文の窓❹　物語の隆盛……292
古文の窓❺　月と暦、そして古典……293
古文学習のしるべ❹　敬語……294
平家物語
木曽の最期……296
《参考》祇園精舎……305
古文の窓❻　『平家物語』の合戦装束描写……306

6 和歌

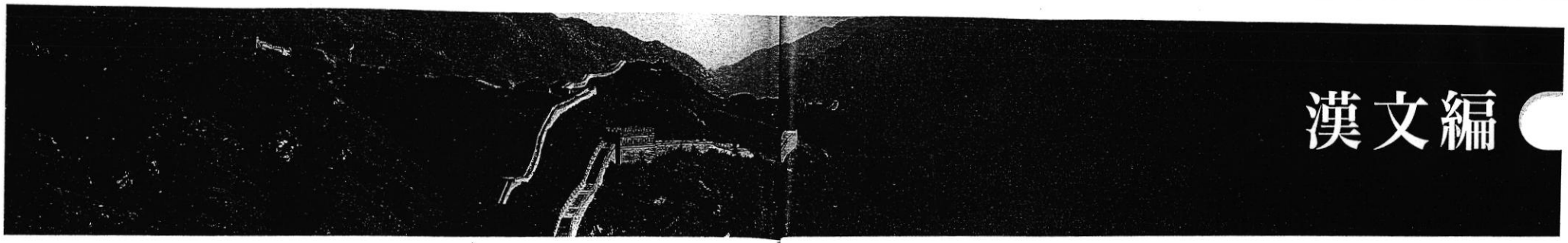
万葉集……308
古今和歌集……312
新古今和歌集……316
古文学習のしるべ❺　和歌の修辞……320
言語活動❷　桜の歌を読み比べる……322

7 俳諧

奥の細道　松尾芭蕉
漂泊の思ひ……326
平泉……329
立石寺……331
大垣……332

◆ 古文の広がり

「おもしろい」と「おかしい」　堀井令以知……335
古文の窓❼　和語と漢語……338



漢文編

1 漢文入門

訓読の基本
訓読……340
格言……342

故事成語——二編
矛盾『韓非子』……350
漢文の窓❶『韓非子』の寓話のねらい……351
推敲『唐詩紀事』……352

2 寓話

寓話——三編
借虎威『戦国策』……354
漁父之利『戦国策』……355
塞翁馬『淮南子』……356
漢文の窓❷ 漢文の中での「名前」……358

3 唐詩

唐詩——十首
自然をうたう
登鸛鵲楼 王之渙……360
〈参考〉登鸛鵲楼 会津八一……360
春暁 孟浩然……361
江雪 柳宗元……361
望廬山瀑布 李白……361
友情をうたう
勧酒 于武陵……362
〈参考〉勧酒 井伏鱒二……362
送元二使安西 王維……363
人生をうたう
黄鶴楼送孟浩然之広陵 李白……363
涼州詞 王翰……364
春望 杜甫……364
香炉峰下、新卜山居草堂初成、偶題東壁 白居易……365
〈参考〉雪のいと高う降りたるを 清少納言……366
言語活動❸ 訳詩を書く……367
漢文の窓❸ 漢詩のきまり……368

4 史話

史話——三編
晏子之御『史記』……370
管鮑之交『十八史略』……372
臥薪嘗胆『十八史略』……374
漢文の窓❹ 交友論……378

5 思想

論語——十章
学問を語る……380
人生を語る……381
政治を語る……382

孟子
不忍人之心……384
漢文の窓❺ 孔子と弟子たち……386

附録

■現代文
評論読解へのアプローチ……388
評論文キーワード……390
近代文学史キーワード……396
読書案内……398
■古文
品詞分類表……400
活用形の用法（文語）……401
用言の活用……401
代表的な助動詞と主な意味……404
文語助動詞活用表……408
助詞の分類と用法……410
文語助詞一覧表……412
古文重要語句索引……414
日本古典文学史年表……416
古典とマンガ……419
■漢文
漢文句法・重要語のまとめ……420
中国文学史年表……424
常用漢字表……426
日本 近代 現代
文学史年表……巻末折り込み

◇古文
通過儀礼……巻末❶
古時刻／古方位／月の異名／月の満ち欠けと月齢……巻末❷
女性の装束／古典に現れる色……巻末❹
男性の装束……巻末❺
住居……巻末❻
官職位階／後宮……巻末❽
◇漢文
武器／服装……巻末❿
旧国名地図……巻末⓫
平安京条坊図／大内裏／内裏……巻末⓬
近畿付近図……巻末⓭
中国参考地図……巻末⓮
戦国時代地図……巻末⓯

5 意見文を書く

意見文とは、ある問題について、自分の意見や主張を論理的に述べる文章である。書いた意見文を他の人に読んでもらい、納得してもらったり同意を得たりするには、根拠を明確にしたり、文章の構成を工夫したりすることが大切である。ここでは、そのような意見文の書き方を学習しよう。

学習のねらい

- 問題についてさまざまな角度から検討し、根拠を明確にして自分の意見を述べる。
- 論理の展開や構成を工夫し、自分の考えを文章にまとめる。
- 書いた文章について気づいた点を話し合い、自分の考えを豊かにする。

! 学習のポイント

1 自分で問題を決める意見文の書き方を理解する

意見文には、取り上げる問題を自分で決めるものと、与えられた課題に対するものとがある。

ここでは、まず、自分で問題を決める意見文の書き方について取り上げる。

(1) 取り上げる問題を設定する

最初に、どのような問題を取り上げるかを決める。取り上げる問題を明確にしておかないと、明確な意見を導くことができない。

(2) 取り上げる問題について検討し、自分の意見を持つ

取り上げる問題についてどのように考えるのか、自らの生活体験や、図書館やインターネットなどを使って集めた情報をもとに（➡二一〇ページ）検討し、自分の意見や主張を持つ。

(3) 意見の根拠について確認する

意見に説得力を持たせるために、自分の意見の根拠について、次のような観点から確認する。

- 客観的な事実に基づいているか。
- 資料から引用する場合、出典や情報源は、信頼性のあるものか。
- 主観的で独りよがりの判断が含まれていないか。

また、根拠の数を一つだけでなく複数示したり、自分の意見に対する反論を想定し、それに対する意見を示したりすると、更に説得力を持たせることができる。

(4) 文章の構成を工夫して、意見文を書く

文章構成の典型的なものには、三段型や四段型（起・承・転・結）などがあるが、意見文の場合には、次に示す三段型が書きやすい。

三段型の例

1 序論（導入）	問題提起	・取り上げる問題を示す。 ・問題についての自分の考えを示す。
2 本論（展開）	考察 根拠・理由① 根拠・理由② …	・1で示した問題や主張について、自分の意見を詳しく述べる。 ・資料などを引用し、自分の意見の補強をする。 ・想定される反論がある場合には、それについての自分の意見も述べる。
3 結論（まとめ）	主張	・1 2を踏まえて、自分の意見をまとめる。 ・提起した問題についての解決策がある場合には、それも示す。

このような文章構成の型に基づいて、構成メモを作成し、実際に意見文を書く。

2 与えられた課題に対する意見文の書き方を理解する

次に、与えられた課題に対する意見文の書き方を取り上げる。それには、次のようなタイプがある。

①課題だけが提示されていて、自分の意見を書く。

②他の人が書いた文章を読んで、自分の意見を書く。

③提示された図表、統計、写真を読み取って、それに対する自分の意見を書く。

このうち、ここでは②のタイプを取り上げる。

(1) 筆者の見解を的確に読み取る

まず、文章の内容を的確に読み取る。その際、筆者の見解と根拠を中心に、文章の趣旨を要約するのも有効な手段である。

要約とは、文章の要点を押さえて短くまとめることである。したがって、まずはキーワードを抜き出したり、各段落のキーセンテンスに傍線を引いたりするのもよい。

次ページに示す例文でいえば、「不確実性」「ネガティヴな感情」（「ネガティヴな感情を」容認する（受容する）」などがキーワードになるだろう。

(2) 筆者の見解に対して、自分の意見を書く

筆者の見解に賛成なのか反対なのか（どの部分に賛成で、どの部分に反対か）を明確にしておくと書きやすい。

そのためには、文章のどの部分に対する意見なのか、その部分を括弧（「　」）などで引用するとよい。

3 推敲（すいこう）して清書する

書いた文章を二一三ページの「評価表の例」の観点をもとに推敲し、清書する。

例文

人生がうまくいくかどうかは、その多くが不確実性に対する対処の方法によっているといっても過言ではありません。不確実性を避けて、確実なことばかりをやっていれば、先細りになります。かといって、不安のようなネガティヴな感情に支配されてしまうと、不確実性に積極的に向き合っていく勇気が生まれません。生きる中で、確実なことは何もないという現実は、実にやっかいな問題を私たちに突きつけるのです。

大切なことは、ネガティヴな感情は決して意味がないわけではない、と気がつくことです。否定的な感情も、私たち人間の生を支える「感情のエコロジー」の中で意味があったからこそ、進化の過程で生き残ってきたのです。そのような「気づき」によって、自分がネガティヴな感情を持つこと自体をまずは容認することが大切なのです。

ネガティヴな感情の存在を、頭ごなしに否定し、それを見ようとしないのではなく、そのような感情があることを直視し、受容することによって、かえって感情の谷を乗り越えることが可能になると私は考えます。

＊「感情のエコロジー」　肯定的感情と否定的感情のバランス。

（茂木健一郎『「脳」整理法』による）

要約の例

ネガティヴな感情に支配されると、その対処法によって人生がうまくいくかどうかが決まる不確実性に向き合うことができない。大切なのは、ネガティヴな感情にも意味があるからこそ、進化の過程で生き残ってきたということに気づき、ネガティヴな感情を持つことを容認することである。ネガティヴな感情を否定せずに直視し、受容することで感情の谷を乗り越えることができるのである。

意見文の例

筆者の見解に同意であるが、一部不満もある。

「ネガティヴな感情を持つこと自体をまずは容認することが大切」という点には賛成である。人間は誰でも不安な気持ちになることがある。つまり、ネガティヴな感情を持つことから逃れることはできない。そうであるならば、そのネガティヴな感情に対して、見て見ぬふりをするのではなく、むしろ直視することによって、不確実性と積極的に向き合えば、新しい発見や経験をすることができる。

なかには、「ポジティヴ」こそがだいじだという人もいる。確かに、ポジティヴな感情は、不確実性や困難に立ち向かうエネルギーになる。しかし、誰もがそれだけで生きていけるわけではない。ネガティヴな感情に苦しんでいる人に向かって、もっとポジティヴな感情を持ちなさいと声をかけても、声をかけられた人にとってはなんの解決にもならない。

もちろん、ネガティヴな感情ばかりでは、生きていくのが楽しくなくなってしまう。筆者も言うように、「感情のエコロジー」が大切なのだ。

ただし、問題はその先である。どうすれば、ネガティヴな感情を直視し、受容したうえで、それを乗り越えていくことができるのかということである。最も重要で、しかも困難な課題である。しかし、この点について、筆者は少なくとも例文の範囲では触れていない。これは、それぞれがこれからの人生で不確実性に出合うたびに、そのつど、自ら考え、探っていくしかないということなのであろうか。

4 評価表を使って、気づいた点を話し合う

他の人の意見文を読んで評価をし、よいと思った点を自分の表現に生かすようにする。

例えば下のような評価表を使って、お互いの意見文について、よかった点、改善が必要な点などを記入して、話し合う。

課題　次の中から一つを選んで、文章の内容を要約し、それに対する自分の意見を書こう。

1 最近の新聞の記事。

2 教科書「時間と自由の関係について」の次の部分。

「もしかすると……ならなかったのである。」

〔一〇九・6～一一〇・2〕

評価のポイント

□自分で設定した問題をさまざまな角度から検討し、その内容に対して根拠を明確にして自分の意見を述べることができたか。

□課題文を正確に読み取って要約し、自分の考えを読み手に伝わるように意見文にまとめることができたか。

□他の人の書いた意見文を読んで気づいた点を話し合い、自分の考えを豊かにすることができたか。

評価表の例

（　　）さんの意見文について　名前

A…よい　B…普通　C…改善するところがある

内容・構成	問題提起は明確に示されているか。	A B C
	根拠は適切で説得力があるか。	A B C
	反論の想定がなされているか。	A B C
	事実と意見、引用は区別されているか。	A B C
	段落構成や展開は適切か。	A B C
	自分の考え、結論は明確か。	A B C
表現	誤字・脱字や送り仮名の誤りはないか。	A B C
	句読点や括弧の使い方は適切か。	A B C
	語句の使い方は適切か。	A B C
総合	○特によかった点	
	○改善が必要な点	
	○その他	